

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	地球市民かながわプラザ		
所在地	横浜市栄区小菅ヶ谷一丁目2番1号		
サイトURL	http://www.earthplaza.jp/		
根拠条例	神奈川県立地球市民かながわプラザ条例		
設置目的(設置時期)	子供の豊かな感性をはぐくむとともに、県民の国際的理解並びに国際平和及び地球的規模の課題への認識を深めることにより地域から行動する意識を高め、併せて国際交流活動及び国際協力活動を支援するための施設。(条例施行日：平成10年1月1日) (開館日：平成10年2月1日)		
指定管理者名	(公社)青年海外協力協会		
指定期間	H28.4.1～R3.3.31 (2016年)(2021年)	施設所管課 (事務所)	国際課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況、利用者の満足度、収支状況の全てがS評価となったため、3項目評価はS評価となった。</p> <p>提案に基づいて、展示学習事業・展示企画事業などの学習センター事業、ライブラリー事業・外国籍県民支援事業などの情報・相談センター事業、NPO等活動支援事業などのサポート・ネットワーク事業のプラザの3つの事業を適切に実施し、過去最高の461,004名の利用者数を記録した。また、施設の維持管理についても適切に行い、利用者から施設全体の印象について高い評価を得ている。引き続き、施設の管理運営をきめ細やかに行うとともに、好調な利用状況を維持することを求めたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、学習センター事業などプラザの3つの事業実施に努め、過去最高の利用者数461,004名を記録する実績をあげた。維持管理業務も適切に実施しており、施設の全体的な印象について施設利用者から高い評価を得ている。</p> <p>◆利用状況 子どもから大人までを対象にした事業の企画や関連企画の実施、ホームページ・チラシ等による広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率115.3%となり、S評価となった。前年度対比では9.0%のプラスとなっており、利用状況は極めて良好である。</p> <p>◆利用者の満足度 第3四半期に利用者満足度調査(詳細アンケート)を実施し、上位2段階の回答割合が98.4%となったためS評価となった。昨年度より回答数が増となったなか、高い評価を得られている。</p> <p>◆収支状況 好調な利用者数を理由として34,093千円の利用料金収入があった(前年度対比102.1%)。支出については、当初予算比で光熱水費△4,215千円、保守点検・委託料△3,433千円、賃借料△1,743千円などとなっている。収支差額が27,764千円のプラス(収支比110.8%)となったためS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設ホームページをリニューアルし、見やすさの改善やスマートフォン対応を行うなど、サービス及び広報の着実な向上につなげている。</p> <p>◆事故・不祥事等 常設展示室にて、転倒した子どもが負傷する事故などがあったが、発生に際し、応急措置を講じるなど適切に対応し、県への報告も迅速に行っている。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 2018年度の3項目評価についてはS評価とした。引き続き、施設の管理運営をきめ細やかに行うとともに、創意工夫により、好調な利用状況を維持することを求めたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	2019年5月14日・15日 及び原則毎月第2木曜日	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>(1) 学習センター事業</p> <p>A 展示学習事業</p> <p>子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく学べる充実したプログラムを提供。週末の利用人数が多い時間帯に、世界の遊び、言葉、衣装といった国際理解・国際協力をテーマとしたプログラムをプラザ職員と展示運営ボランティアによって実施。</p> <p>ファンタジー展示室では、地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるために、幼児を対象に合唱や音楽に合わせた体操、絵本の読み聞かせ等を行う。</p>	<p>事業計画に沿って、週1回以上開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみよう！世界の遊び、考えよう！世界の今等の展示学習プログラム計67回。 ・地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるため、未就学園児を対象にわらべ歌やリズム遊び、絵本の読み聞かせ、工作プログラム等のファンタジープログラム49回を実施した。 	<p>プラザの2018年度の施設利用者数は461,004名と開館以来最高を記録した。指定管理者が子どもから大人までを対象によく事業を企画し、施設の管理運営を適切に行ったことの積み重ねによるものであると受け止めている。(以下の欄について同じ)</p>
<p>B 展示企画事業</p> <p>世界の伝統文化、自然、歴史的遺産などに焦点を当て、楽しく学び、豊かな感性を育む企画展を開催。</p>	<p>年間を通じて6テーマ、会期延べ283日間(41,478名参加)の展示企画事業を実施。GW特別こども企画「ガタンゴトン！電車のへや」(来場6,485名)、「彩りの島々 インドネシア—魅せる染織と人々の暮らし」(来場9,096名)「”着る”アフリカ展」(来場8,830名)などを実施した。</p>	

<p>C 映像ホール事業 子どものための映画会を夏休み冬休みなど長期休暇を利用し継続的に行いつつ、更なる映像ソフトの充実を図りながら、校外学習や大人を対象に映像ライブラリー所蔵のビデオ・DVDを活用した事業を展開。</p>	<p>年間延べ159日上映。月に1回から3回程度、週末の日中や祝日等に開発途上国を題材に扱った作品や、環境や貧困など地球規模の課題をテーマにした映画を上映するアースシアター、こども映画会、企画展に関連するテーマの作品の上映、校外学習受入れ時の作品上映を実施。</p>	
<p>D 交流交歓学習事業 小中学生から大人までを対象にした参加型ワークショップを実施。各テーマごとに年間4～6回のシリーズで事業展開。</p>	<p>交流交歓学習事業に参加する子どもたちが、地球市民の一人としての自覚に目覚めるようなワークショップ「世界の教室」・「世界の文化」を実施。在住外国人をゲストに招き、参加した子どもたちが相互交流を通じて互いの「共通点」と「違い」に気づき、相対的な世界観を養える内容とした。また、文化紹介プログラムとして、楽器や踊り、工作などのワークショップも実施した。年間14回(1,053名参加)</p>	
<p>E 地球市民学習事業 地球市民学習事業は、幅広い年齢層を対象に、世界的、社会的課題について広く周知し、地球に住む一人として、それらの解決に必要な素養を身に付けること、又は目指すことを目的とする。県民のより広く且つ深い課題の理解につながるよう、工夫したプログラムを年に6回実施。開催中の企画展示の内容とも関連付けをし、展示とともに講演によって、より理解を深める取組を行う。</p>	<p>全国シンポジウム「トークセッション『生きるを編む』大事にしたいこと・ひとと仕事を結びなおすはたらき方」やセミナー、講演会等を年間9回実施した(875名参加)。</p>	

<p>F ビエンナーレ国際児童画展開催 絵画を通じて、こどもたちの夢と創造力を育み、神奈川のこどもたちに世界を、世界の子どもたちに神奈川を紹介し、国際理解と国際交流の推進を図る。</p>	<p>第20回展の募集及び審査 ・募集 2018年9月1日(土)～11月30日(金) ・応募数 27,599点 (海外23,826・県内3,773) ・審査結果(表彰は2019年度) 大賞3(海外2、県内1)、総務大臣賞等特別賞50(海外37、県内13)、カナガワ賞465(海外350、県内115)、あーすぷらざ賞2(海外県内各1) ・デジタルミュージアムHP「こどもアートミュージアム」運営 ・作品等貸出 県パスポートセンター県央支所他7箇所</p>	
<p>G 展示運営・展示ボランティアの運営 プラザの設立目的である「こどもの豊かな感性の育成」、「地球市民意識の醸成」、「国際活動の支援」を達成するために常設展示室を良好に保ち、入館者へのサービスをボランティア活動等により充実させる。</p>	<p>常設展示室入館者(年間72,760名)に対する展示案内をはじめ、安全管理、展示室内の展示物の整理等を通して地球市民学習の場として活用される運営を行った。 その他、国際平和展示室の補完展示として、アンネ・フランク特別展示を実施。 (2018年7月28日(土)～8月31日(金)1,605名) ・展示ボランティア登録者数52名</p>	

<p>H 校外学習の受入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員等からの校外学習相談への対応 ・利用前後及び利用当日の学習指導案作り ・プラザ施設を活用した体験的な国際理解教育、平和教育プログラム等の実施等 ・学習資料等の作成など受入れ促進の実施 ・海外の途上国で活動した青年海外協力隊ボランティア体験談や国際理解等に関わるワークショップの実施提案。 	<p>次代を担う子どもたちに世界の多様な文化、地球的規模の課題などへの認識を深めてもらうため、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校等からの校外学習の受け入れを行った。</p> <p>年間総計178校 7,036名</p>	
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>I その他、提案事業 ア アウトリーチ事業 ①神奈川県環境保全への理解の促進 ②国際理解教育出前講座 イ その他、館内実施事業等 ①館内インフォメーションツアー ②仮装deハロウィンドキドキ・スタンプラリー ③キャンドルナイトinあーすぷらざ ④緑のカーテンプロジェクト</p>	<p>I その他、提案事業 ア アウトリーチ事業 ①かながわ水源の森林づくり定着型ボランティア事業連携 松田町寄地区の水源林で「こども国際森林レンジャー」開催を予定していたが、台風により中止。 ・代替：現地で予定していた木材工作プログラムをプラザで実施 ・2018年9月30日(日)10名参加 ②あーすぷらざ出前講座 プラザ訪問が難しい県内等の学校等への出前講座。 ・10校 1,256名参加 イ その他、館内実施事業等 ①館内インフォメーションツアー 隔週で月2回土日にプラザの案内を実施。国際理解や多文化理解につなげる。 (1,364名参加) ②仮装deハロウィンドキドキスタンプラリー2018 ハロウィンに合わせて、仮装パレードなどを実施。地域との交流の機会にもなった。 ・2018年10月28日(日)1,470名参加 ③キャンドルナイトinあーすぷらざ 2018 キャンドルを見つめながら、平和などを思う静かな時間を過ごすイベントを実施。 ・2018年11月17日(土)680名参加 ④みどりのカーテン大作戦inあーすぷらざ 温暖化対策として実施。成長過程を報告するとともに、収穫物でのイベントなども実施。 ・2018年5月27日(日)27名参加</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>J インターンシップ／教員研修事業 プラザ事業に対する理解を深めてもらうため、高校生・大学生のインターンを受け入れ、職場体験の機会等を提供する。</p>	<p>J インターンシップ／教員研修事業 ①インターンシップ 中学3校（11名）、高校1校（4名）、大学等7校（17名） ②教員研修 県立港北高等学校ほか10校（13名）</p>	
<p>（2）情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 大人が地球市民意識を醸成し、多文化共生及び国際交流・協力活動を学ぶための図書や映像などの資料を揃えると共に、子どもが絵本や雑誌及び映像に親しむために工夫を加えたライブラリー運営を行う。</p>	<p>（2）情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 ・利用者数 107,263名 ・図書の収集・貸出 蔵書数 44,810冊 貸出登録者数 19,484名 館外貸出数 13,430点 ・ビデオ・DVDの収集・視聴サービスの提供 所蔵数 2,428点 視聴本数 6,357本 視聴利用者数 7,675名 ・こどもコーナー 子ども向けに多言語読み聞かせなど開催 1,575名参加</p>	

<p>B 外国籍県民支援事業 これまでの事業運営を基本に、他の支援団体、民間団体との連携を十分に図り事業運営を行う。また、外国人住民の支援につながるような自主事業、共催事業を企画し実施。</p>	<p>B 外国籍県民支援事業 ・外国籍県民支援のための情報収集整理 ・外国籍県民相談事業(一般・法律) ①【相談窓口事業(3箇所、6言語)】相談件数：一般1,104件(3箇所のうち法律117件2箇所) ②相談機関連絡会1回開催 ③県内の相談員対象の研修会5回開催(受講者184名) ・外国籍県民相談(教育) 【相談窓口事業(1箇所、やさしい日本語を含む5言語)】 相談件数1,643件 ・総合的な日本語学習等支援センター事業 ①教材・情報の収集、提供等 ②フィールドワーク受入事業(8回実施 参加104名) ③アウトリーチ支援活動(出前講座等9回開催 参加387名) ④日本語学習支援等の団体ネットワーク 日本語教育支援者間のネットワークの構築と、定評がある日本語関連教材および資料の展示・販売機会の提供として「日本語学習・支援者のための集い」を実施。2018年10月14日(土)参加者数約120名</p>	
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

<p>C 広報・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラザ施設案内、各種事業や地球市民学習に役立つ情報を掲載した広報物の発行など（年3回機関紙発行、月2回程度のメルマガ、催し物の案内やチラシなどの作成及び配布）。 ・ホームページ運営など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページリニューアル（スマートフォン対応可）アクセス数年間571,142件 ・新聞、タウン誌等広報掲載276回 ・プラザ壁新聞(機関紙)年3回発行(A2判 3,500部/回) ・催事案内チラシ(月1回 4,500～5,000部、館内用ポスターほか) ・広告(かながわ県民センター広告スペースへのポスター掲示、WEB広告) ・メールマガジン(月1回、読者数158名) 	
<p>(3)サポート・ネットワーク事業</p> <p>A NPO等活動支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO等が実施する企画・事業をサポートし、プラザの設立趣意に合致する事業に対し、活動場所の提供や広報・PR等を支援。 共催事業(8件 参加5,547名)、「あーすフェスタかながわ」運営参画など ・NPO等専用の打合せ等のための無料スペースの提供 情報フォーラムスペース登録33団体(7,175名利用) 	
<p>B NPO等のための事務室運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体の活動状況の把握 ・利用団体の活動支援 ・新たな公募および選考 	<p>非営利で公益的な活動、とりわけ国際協力、国際交流、多文化共生を育むことを主な目的とした活動をする団体に、活動の場(共同の事務所スペース)を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居8団体(事務室利用日数323日、利用1,301名) ・新規募集 ・入居希望者の選考委員会の開催など 	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>①中国残留邦人「しゃべり場」との共催事業「帰国者の方とっしょに映画を楽しもう！」</p>	<p>①中国映画の鑑賞及び交流会(参加93名)</p>

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対 前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目 標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	421,094	423,009	461,004
対前年度比		100.5%	109.0%
目標値	390,000	395,000	400,000
目標達成率	108.0%	107.1%	115.3%

目標値の設定根拠： かながわグランドデザイン

利用者数の算出方法（対象）： 常設展示室観覧券発券枚数、貸出施設利用申込人数
(貸出施設のうち映像ホール等を事業で利用する場
合は入場者数)、図書・映像資料貸出等処理件数、
フォーラム等定点観測(4～6回/日)、NPO等のた
めの事務室(利用簿の利用者数)。

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	第3四半期に実施。来館者や事業参加者にアンケート用紙を配布。	概ね高い評価を得ている。指定管理者が子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とする事業実施に配慮したことや適切な施設の管理運営に努めたことが評価されたものと思われる。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設の全体的な印象

実施した調査の配布方法 受付配布、事業参加者・利用者、直接配布 回収数/配布数 637 / =

配布(サンプル)対象 事業参加者、施設利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	301	282	10	0	593	
回答率	50.8%	47.6%	1.7%	0.0%		
前年度の回答数	290	289	2	1	582	
前年度回答率	49.8%	49.7%	0.3%	0.2%		
回答率の対前年度比	101.9%	95.8%	490.7%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105% 未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に 15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	246,860	28,392	700	物品販売450 映画上映200 有料ワークショップ50	275,952	275,952	0	
	決算	246,860	31,992	1,423	物品販売1213 映画上映60 出前講座149など	280,275	250,975	29,300	111.67%
前年度	当初予算	244,981	28,392	700	物品販売450 映画上映200 有料ワークショップ50	274,073	274,073	0	
	決算	244,981	33,379	1,274	物品販売719 有料企画展480 出前講座など75	279,634	255,152	24,482	109.60%
2018年度	当初予算	246,860	28,392	700	物品販売450 映画上映200 有料ワークショップ50	275,952	275,952	0	
	決算	246,860	34,093	4,093	物品販売2436 有料企画展1534 出前講座など123	285,046	257,282	27,764	110.79%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

(2018年度の当初予算と決算額の支出について)

光熱水費△4,215千円(入札による単価減等)、保守点検・委託料△3,433千円(入札による委託料の減)、賃借料△1,743千円(再リース契約によるリース料減)など

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	満足度調査	1 件	①ホームページの見やすさ等改善	①ホームページリニューアルを検討していたため、要望の見やすさを第一優先に考慮し、対応（スマートフォン対応可）
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
4月30日 （祝）	①5階こどもの国際理解展示室の階段で足を滑らせた子どもが階段の防護ネット付近で顔面打撲・裂傷したため、応急措置等を実施。 ②報告書にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③保護者により医療機関受診（縫合） ④～⑥該当無
7月16日 （祝）	①5階こどもファンタジー展示室で遊戯中に躓き、長椅子に額をぶつけた子どもが前額部を切創したため、応急処置等を実施。 ②報告書にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③保護者により医療機関受診 ⑤指定管理者による保険適用（治療費及び通院交通費） ④・⑥該当無
1月5日 （土）	①5階こどもファンタジー展示室で遊戯中に転倒し、椅子に顔をぶつけた子どもがこめかみ付近を裂傷したため、応急処置等を実施。 ②報告書にて状況詳細を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導など特別な対応なし。 ③保護者により医療機関受診 ④～⑥該当無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。